

## 令和7年度 自己評価シート【平町児童館】

### 1、福祉サービスの基本方針と組織

#### 1－1 理念・基本方針

1－1－（1） 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	利用者の方に理解してもらいやすいような文章にし、利用者も職員も目につきやすい場所に掲示し周知しています。また、「こども会議」の内容も館内に掲示したり、近隣の小学校に配布するおたよりも記載し、児童館運営が子どもの権利を尊重して行われていることが利用者にもわかるようにしました。
1－1－（2） 理念、基本方針の確立・周知について	
<b>良いと思う点</b>	改善が必要だと思う点
理念、基本方針に基づきイベントの企画を行い、小中学生におたよりとして配布しています。児童館がどのような場所なのかを利用者にわかりやすいように児童健全育成推進財団が出している文章などを使い掲示しています。	理念、基本方針に記載されているが、まだ実施できていない事項に関しては、全職員でどのように取り組めば良いのかを考え、実施していくたいです。

### 2、児童館の活動に関する事項

#### 2－1 児童館の理念・目的及び施設特性

2－1－（1） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込でいない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	施設特性を生かせるよう地域施設との連携を密にとり、子どもたち、保護者、地域の方々とつながる機会を設けています。近隣の中学校・高校とも連携を取り、乳幼児や小学生と関わる機会や体験を取り入れ地域の健全育成の場としての環境作りが出来るようにしています。
--	---

## 2－1－（2）

児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。

### 【判断基準】

- (a) 児童館の施設特性を發揮している。
- (b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。
- (c) 児童館の施設特性を發揮していない。

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館職員が、スタッフとして、近隣住区や学校のイベントに参加しています。また、地域住民の方や学校も自館のイベントに協力していただき、地域全体で子どもたちの健全育成を行う環境作りをしています。 自館がイベントを行う際には、近隣施設を貸していただくこともあります。また、近隣の保育園が日常的に児童館を活用し、地域との連携協力をしています。

## 2－1－（3）

子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。

### 【判断基準】

- (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。
- (b) —
- (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	地下1階多目的スペースの遊び方やスケジュールは「こども会議」で話し合い子どもたちと決めています。日常的にも子どもたちの声を大事にし、イベントに取り入れられるよう職員や子どもたちと話し合って決めています。

## 2－1－（4）

児童館の理念・目的及び施設特性について

良いと思う点	改善が必要だと思う点
地域との連携が密に取れており、イベントなどの際には協力し合っています。また、協力の必要性についても職員間で共有できています。	全職員で新ガイドラインについての理解を深めていきたいです。

## 2－2　遊びによる子どもの育成

### 2－2－（1）

子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。

### 【判断基準】

- |  |
|--|
| (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。         |
| (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。 |
| (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。                                  |

<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもの様子について普段の様子と変わったことや、気になることがあった際には職員間で必ず共有し、関わり方を一緒に考えています。必要であれば学校・関係機関とも連絡をとり、居心地のいい環境作りを心がけています。

2-2-(2)

子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。

**【判断基準】**

- |  |
|--|
| (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。         |
| (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。 |
| (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。        |

<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	日頃から子どもの主体性を大切にし、イベントの企画はキッズスタッフ(TMK)を中心に子どもたちから提案があったものを取り入れ決めています。 遊びを通して、子どもたちがルールや内容を変更したりし遊びの幅を広げられるよう、選択できる環境を作っています。

2-2-(3)

子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。

**【判断基準】**

- |   |
|---|
| (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。         |
| (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。 |
| (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。      |

<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	ぶち JUMP-JAM など乳幼児向けのイベントに小中学生が積極的に参加し、一緒に遊んだりと関わる姿が見られます。その際に、乳幼児とどう関わつたらいいかを考える姿も見られています。 今年度も「こども会議」にて地下の遊び方について意見を出し合い、ルールを決めることで、年齢に関係なく遊ぶ姿が見られています

2-2-(4)

遊びによる子どもの育成について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
キッズスタッフを中心にイベントの企画を行い、運営する子どもたちが増え、自主性や主体性を伸ばし、子どもたちも達成感を感じています。	年齢が上がるにつれて言葉が強くなり、トラブルになることもあるため、遊びを通して気持ちを伝え合い、相手の気持ちに気づく機会を作っています。

## 2－3 児童館の安全管理

2－3－（1） 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
<b>【判断基準】</b>	
(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。	
(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。	
(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input type="checkbox"/> a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>地震・火災・不審者それぞれを想定した避難訓練を毎月実施し、有事の際に適切な対応ができるよう備えています。</p> <p>今年度は普通救命講習も館内にて実施しました。その際に、AED やエピペンの使用方法を学び、いざという時の対応ができるようにしています。</p> <p>事故・ケガが起きた際にはすぐに職員間で連絡を取り合い連携がとれるようにはしているが、全職員が適切に対応できるような体制を引き続きとっていく必要があります。</p>
2－3－（2） 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
<b>【判断基準】</b>	
(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。	
(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。	
(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	運営時に発生した事故やヒヤリハットについては、職員会議や毎日の職員会の時に共有し、必要に応じて対応策の検討を行っています。定期的に玩具の点検を行い、壊れている物がないかの確認も行っています。